

声優・演劇科

舞踊 I

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実技	時間数	60	単位	2
担当教員	花ノ本寿、花ノ本寿美佳			実務経験	有	職種	舞踊家				

授業概要

日本舞踊を通じて和装の着付けから所作、礼儀作法を学ぶ。

到達目標

全身を使って、立役・女形の両方を稽古することで、それぞれの表現方法の違いを見出し、色々な役柄に対応する力を身につける。浴衣の着付けが美しくそして早くできるようになり、浴衣で色々な動作をしても着崩れにくい方法を習得し、また着崩れてもすぐに直せるようになる。日本の伝統的な舞踊を学び、そこから知識と教養を高める。

授業方法

まず礼儀作法をきちんとして、礼に始まり礼に終わるという武道からくる日本の精神を知る。浴衣の着付けを丁寧にやる。扇子の扱い方、見立て（扇子で具体的な色々なものを表現する）を学び、舞踊の中にもそれを活かす。男踊りと女踊りの両方を稽古する。その際に自分が踊るだけでなく、学生同士お互いの踊りと注意された箇所を修正する様子を見て、切磋琢磨していく。歌舞伎舞踊の独特の科白（せりふ）も勉強する。

成績評価方法

礼儀作法、着付け、踊りなどすべてを総合的に評価する。

履修上の注意

この授業独特の挨拶の仕方、出席を取るときの約束、荷物の置き方、休憩中の過ごし方、アクセサリー等を外す、などの設定されたルールをきちんと守ることを励行する。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業計画は浴衣の仕立て上がりや扇子の完成時期により、一部流動的になる。

教科書教材

浴衣一式、扇子、手ぬぐい。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

回数	授業計画
第1回	日本舞踊について・各種説明
第2回	基本動作・舞踊稽古
第3回	基本動作・舞踊稽古

第4回	基本動作・舞踊稽古・扇子の扱い
第5回	舞踊稽古・扇子の扱い・浴衣着付け
第6回	舞踊稽古・扇子の扱い・浴衣着付け
第7回	舞踊稽古・扇子の扱い・浴衣着付け
第8回	舞踊稽古・浴衣着付け
第9回	舞踊稽古・科白（せりふ）
第10回	舞踊稽古・科白（せりふ）
第11回	舞踊稽古・科白（せりふ）
第12回	舞踊稽古・科白（せりふ）
第13回	全ての課程の復習
第14回	全ての課程の総仕上げ
第15回	前期試験